



【学校教育目標】

Treasure Island

笑顔いっぱい

～気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる～

長崎市立高島小中学校 校長 宇土 衛



主体的・対話的学びを目指して

学校だより Treasure Island 第15号」で、日本が目指すべき教育の姿「**主体的・対話的で深い学び**」についてお伝えしました。

高島小中学校では、今年度、**小学校「対話的な学びを通して、考えを深め合える高島っ子の育成」・中学校「主体的な学びを通して、自立した学習を展開できる高島っ子の育成」**を研究主題とし、この「**主体的・対話的で深い学び**」が、日々の授業で行われるよう授業改善を行っています。

とは言え、「対話的な学び」は、より多くの人たちと意見を交流したり、考え合ったりすることで成立する性質を持っています。高島小中学校は児童生徒数が少なく、なかなかその状況をつくれない状態です。そこで、先生方は知恵を絞り、ICT 機器を用い、いろいろな学校と交流授業を行うというチャレンジを行っています。今回は、その取り組みの様子をご紹介しますと思います。

小学校…式見小学校とのオンライン授業

12月2日に1年生が式見小とオンラインで繋がり、道徳の授業を行いました。「はなばあちゃんがわらった（親切、思いやり）」という資料を用い、同時に授業を進めていきました。いつもは3人での対話で学習が進むのですが、この時は式見小の6人を含めた9人の意見を聞くことで、自分の考えを深める様子が見られました。



中学校

…五島市立嵯峨島中学校・

西海市立江島中学校とのオンライン授業

中学校は、長崎市を飛び出して、五島市立嵯峨島中学校、西海市立江島中学校と繋がり、国語の授業を行いました。「3校合同『島』論！～長崎の離島のこれからについて討論しよう～」を題材に、これからどうすれば、より自分たちが住む島を活気づけられるかについて討論しました。



「対話」を学びにいかすことで、これまで思っていなかったアイデアが閃いたり、自分の考えを深く見つめ直すことで、自信を身に付けたり、自己肯定感を高めたりすることができます。この高島の地でできる学びを模索しつつ、子供たちの成長を支えていきます。

